

*1

藤嶋 一郎*² 磯崎 秀夫*³

Chopped Carbon Fiber for FRTP, "Xylus"

Ichiro Fujishima, Hideo Isozaki

1 はじめに

炭素繊維の用途は航空・宇宙産業やスポーツ用に偏っていたが、



コンパウンド工程不要……Dシリーズ
 電気抵抗調整……Rシリーズ
 表面平滑性，寸法安定性……Mシリーズ

C，D，Rシリーズはチョップドストランドの形状で，Mシリーズは粉状で供給される。Mシリーズはサイジング剤を施して、また、それぞれのシリーズでも高撹動性を發揮できる。

上に達し，金属部品のプラスチック化も可能になる。

4 Dシリーズの樹脂配合特性

一般に炭素繊維などのフィラーを樹脂に配合するためには，成形に先立って樹脂ペレットとフィラーを複合化するコンパウンド工程

現在は2グレード(G,I)，4シリーズ(C,D,R,M)の組合せで

製品を細かく対応できるのが最大の特色である

が必要である。

Dシリーズはコンパウンド工程を省略し，樹脂ペレットと並に直

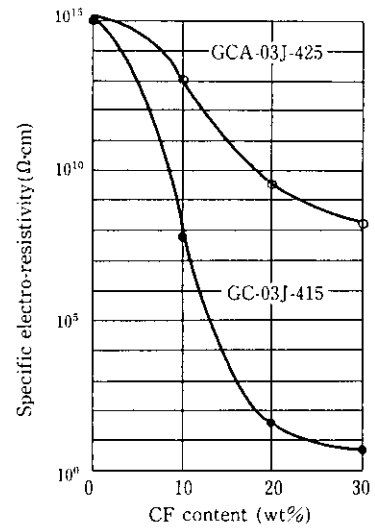
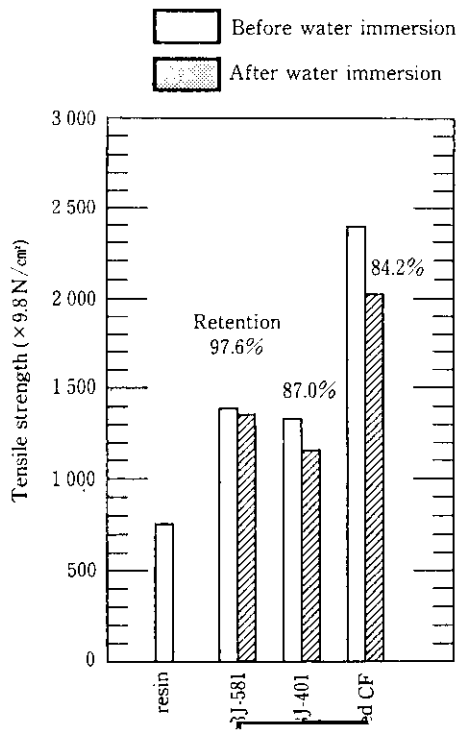


Fig. 4 Specific electro-resistivity of Xylus-GC & Xylus-GCA CFRTP(POM)

それぞれ配合した場合の体積固有抵抗を比較した。CFシリーズで